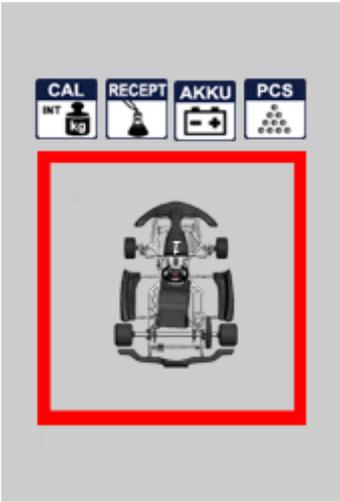
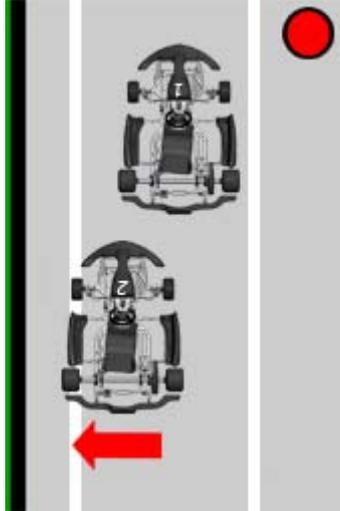
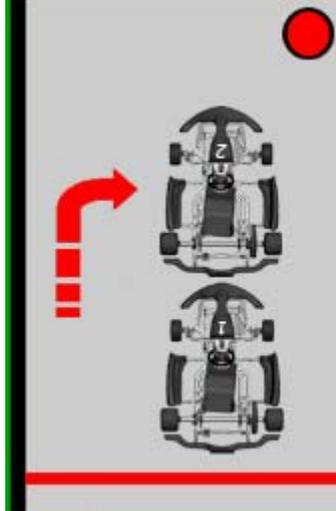
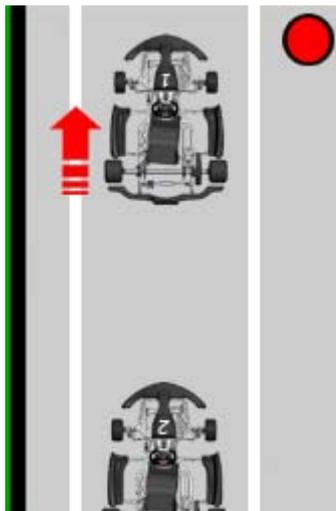


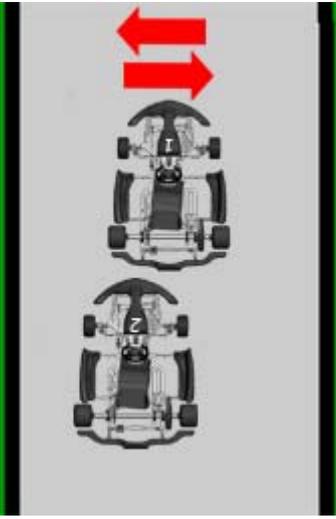
ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R03 車両違反 および 服装違反	<p>テクニカルレギュレーションに定められた全ての部品を装備していなかった場合を車両違反とします。</p> <p>レース前、レース中、レース後、発生する時期は問いません。</p> <p>同様に利益が有るか無いかも問いません。</p> <p>ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p>特徴的な違反は以下のものです</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-重量不足 2-間違った寸法や違反部品の使用等 3-間違った燃料、違法オイル、クーラント使用、その他... 4-タイヤへの加工、薬品の塗布など (タイヤ検査機 Mini Rae) 5-違法な改造 6-ドライバーの安全装備義務違反 7-オレンジボール旗によって、レースを終えた場合 8-その他 		<p>ジャッジ</p> <p>ヒート失格の場合あり</p> <p>安全装備違反等は成績に 1~10 秒加算</p> <p>または 3~10 ポジションダウン</p>
R04 ローリング隊列違反 およびヒートニング	<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為や、ローリング中の隊列を守れない走行、他車と接触しそうな激しいヒートニング行為やプッシング等によって競技進行を遅らせた場合。</p> <p>先頭の左右 2 台は隊列を守り、スピードを整える義務があります。ペースダウンやペースキープボードを確認しなくてはなりません。この義務を怠った場合ペナルティの対象となります。</p> <p>※ニュートラリゼーション中も対象です</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合 赤旗後に最後列へポジションダウン または、成績に 1~10 秒加算 または 3~10 ポジションダウン</p>
R05 スタート隊列違反	<p>スタート合図が出る前に、2 番のカートのように、誘導白線からカート本体の半分以上が線からはみ出し、追い抜きの行為を早く始めることをスタート隊列違反とします。</p> <p>2 番のカートが、単にラインに触れたり、タイヤがはみ出す程度は違反と判断しません。</p> <p>また、25m ライン通過後、前方のカートが失速(前々車との間隔が 1 台以上開く場合)した場合、前車との衝突を避ける行為は認められます。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>または、成績に 1~10 秒加算 または 3~10 ポジションダウン</p>

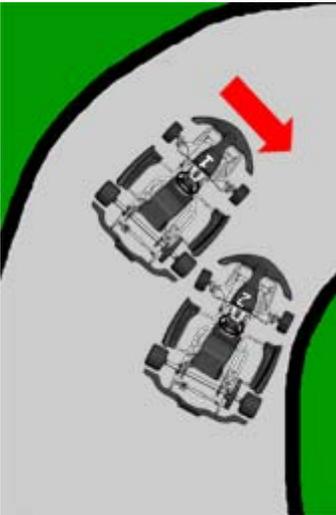
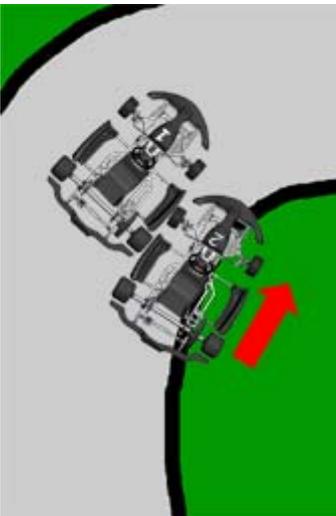
ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

反則行為	解説		ペナルティ判断
<p>R06 ポジション復帰禁止エリアでの復帰</p>	<p>ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア（コース図に指定箇所表示あり）に入ってから、2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジション復帰した場合。</p> <p>※ドライバーマナーとして、元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。 強引に入り込み、隊列を大きく乱したり、事故を招いた場合、危険行為と判断されます。</p> <p>注意；ポジション復帰禁止エリアとは、⑩コーナー両サイドに置かれた三角コーンを直線で結んだ赤い線上からとし、その線を越え復帰した場合ペナルティとなります。</p> <p><ローリングの隊列に大きく遅れた場合> 対象ドライバーに白地に赤 X 印のポジション復帰禁止ボードを提示します。提示されたドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません。赤旗による再スタートの場合でもポジションは変わりません。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に 1~10 秒加算 または 3~10 ポジションダウン</p>
<p>R07 ジャンプスタート および ニュートラリゼーション解除後の再スタート違反</p>	<p>下記項目をジャンプスタートとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-スタートが切られる直前に、1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ 1番のカートと 2番のカートの間にカート 1台分以上間隔が開くような行為の場合 2-リタイヤ等によって前方のカートがいない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合 3-スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合 4-ニュートラリゼーション解除後、再開を指示するグリーンフラッグは、コントロールライン横で振られます。 競技再開後の追い越しは、コントロールラインを過ぎなくてはならず、ライン手前で追い越しをした場合、再スタート違反ペナルティとなります。 <p>※1番のカートが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合は、ジャンプスタートとみなしません。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>または、成績に 1~10 秒加算 または 3~10 ポジションダウン</p>

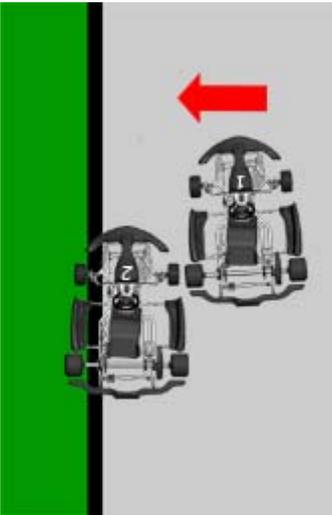
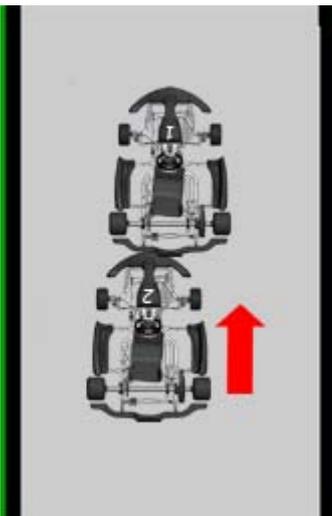
ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R08 ショートカット</p>	<p>2番のカートのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。</p> <p>ペナルティの判断 2番のカートが順位を上げるか、その周回中のラップが明らかに速かった場合</p> <p>1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで被害を被った場合</p> <p>1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで順位を下げたり、リタイアした場合</p> <p>※停止しているカートやトラブルで失速したカートとの接触を避ける場合はこの限りではありません。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算 または3～10ポジションダウン</p>
<p>R09 ジグザグ および レーンチェンジ行為</p>	<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。</p> <p>2番のカートから、1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用されます。</p> <p>特徴的な違反は以下のものです</p> <p>1-後方にあるカートの位置を目視で確認し、わざと走行ラインをずらしジグザグ走行によって抜かれないようにする行為</p> <p>2-レース中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方のカート進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言い、レース中の蛇行走行をジグザグと言います</p> <p>呼び方としては、悪質なブロック走行と呼ぶ場合もあります</p> <p>※ニュートラリゼーション中は1列走行のため、ジグザグ走行も対象です。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算 または3～10ポジションダウン</p>

ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p>R10 カットイン コーナリング時の 走路妨害</p>	<p>1番のカー트가 2番のカー트의進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することをカットインとします。 これは双方のカー트가接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のカー트가 1番のカーつの少なくとも 1/3 以上（2番の前輪が 1番の後輪より前）の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断 2番のカー트가順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のカー트가ダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合</p> <p>※ 1番のカー트가 2番のカーつの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に 1~10 秒加算 または 3~10 ポジションダウン</p>
<p>R11 エッジイン 無理な突っ込み</p>	<p>2番のカー트가十分な隙間がないのに、1番のカーつの内側に入っていくことをエッジインとします。 ※例：スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合など。または適正な減速をする様子がない行為</p> <p>2番のカーつの多くの部分が 1番のカーつのイン側にいる場合、または 2番のカー트가接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p>ペナルティの判断 2番のカー트가順位を上げた場合 1番のカー트가順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のカー트가ダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に 1~10 秒加算 または 3~10 ポジションダウン</p>

ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R12 プッシュアウト 幅寄せ	<p>1番のカートがラインを変更して2番の車を完全に、または部分的にコース外に追いやることをプッシュアウトおよび幅寄せとします。 これは双方の車が接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番の車が1番の車の少なくとも1/3以上（2番の前輪が1番の後輪より前）の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番の車が順位を上げたとき 2番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番の車がダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合 1番の車が危険行為と判断された場合</p> <p>※1番の車が2番の車の走行ラインを残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算 または3～10ポジションダウン</p>
R13 プッシング 後方からの接触	<p>2番の車のフロントが1番の車のリア部分に接触することをプッシングとします。また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。</p> <p>下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番の車が利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p><対象となりやすいエリア> コーナーへの進入区間/旋回区間などの後方からの接触が危険なエリア</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番の車が順位を上げる、同一周回中に元の順位に戻らなかった場合 1番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番の車がダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイアした場合 2番の車が危険行為と判断された場合</p> <p>※1番の車が失速などによって起因した後部からの接触は、プッシングと判断しない場合があります。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算 または3～10ポジションダウン</p>

ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R14 危険行為	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <p>1-無理な進入速度で多重クラッシュを招く行為 2-走行ラインを残さず、危険なブロックによって相手と接触した場合 3-コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合 ※例 1：ピットアウト後にサポート区間を過ぎても、メカニックがカートサポートをした。</p> <p>4-停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらず、後続車通過前に再スタートした場合 5-事故停止カートやコースアウトしたカートを、放置し障害物とさせる行為 6-コースを逆走し事故を招く行為</p> <p>JAF が発表する判断、規則と若干相違があり、瑞浪シリーズでは右欄の中から判断選択をします。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒白黒旗にて警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に 1～10 秒加算 または 3～10 ポジションダウン</p>
R15 ピットエリア ピットロードでの危険行為や違反行為	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの危険行為とします。</p> <p>1-ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合 ピットロード徐行違反と判断されます。</p> <p>2-ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合 ピットスルー危険行為と判断されます</p> <p>3-指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合 がピットエリア違反行為と判断されます</p> <p>JAF が発表する判断、規則と若干相違があり、瑞浪シリーズでは右欄の中から判断選択をします。</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に 1～10 秒加算 または 3～10 ポジションダウン</p>

ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

<p>R16 その他の競技違反</p>	<p>1-競技委員に申告せず、無断で計測装置を変更した場合 2-競技委員に申告せず、無断でエンジン交換を行った場合</p> <p>3-ピット・パドックで火器を扱ったり、喫煙した場合 ※基本、火器の使用は禁止ですが、主催者に確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。 喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告を実施します。 同一大会で2度目の行為が発覚した場合は、出走したヒートの成績に対し、秒加算のペナルティが入ります。</p> <p>4-エンジン暖気場所以外で、エンジンのから吹かしを行った場合 ※ダミーグリッドでエンジン始動チェックは行えますが、暖気場所を設定したにも関わらず、その指定箇所以外でエンジンのから吹かしを行った場合、その対象ドライバーにペナルティが入ります。 対象ドライバーの出走したヒート成績に対して実施します。</p> <p>5-ドライバーズブリーフィング（ミーティング）を不参加した場合 6-レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らなかった場合</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒警告</p> <p>悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示</p> <p>または、成績に1～10秒加算 または3～10ポジションダウン</p>
<p>R17 ドライバーモラル</p>	<p>1-ドライバーサインを出さない場合 2-競技役員、コース委員・オフィシャルからの指示を無視した場合 3-走行中に、競技相手を挑発する行為をした場合 4-他人への言葉による脅しや侮辱、暴行行為をした場合 5-パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車輛の乗り入れ 6-競技規則を読まず、理解せず、競技委員にクレームを入れる行為</p>		<p>ジャッジ</p> <p>軽度⇒警告</p> <p>悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示</p> <p>または、成績に1～10秒加算 または3～10ポジションダウン</p>
<p>抗議</p>	<p>競技判定に関する抗議は、ヒート終了後</p>		<p>抗議料 ￥20,300-</p>

ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 2016 Penalty Catalog

以上、R1 から R17 までのペナルティジャッジは目安ですので、記載されていない行為でも競技委員の判断によりペナルティとなる場合があります。また、競技役員やレース大会の格式によって、表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。

【ご注意】 審判判定は競技規則の改定などにより毎年変更されることがあります。

※1、レース競技状況により、ペナルティの判定が遅れ、ヒート終了直後に発表出来ない場合があります。

※2、暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティの判定等によって成績が変動する場合があります。

ペナルティカタログ作成の主旨

本ペナルティカタログは、競技の安全を最優先と考え、ドライバー・エントラント、主催者・オフィシャルすべてがスポーツマンシップを持ち、本大会へ挑む事がポリシーと考えています。

- ・スポーツマンシップに準じ、技術向上と選手育成を目指します。
- ・大会に関連する参加者すべてのマナー向上を目的とし、安全で公平なレース運営を目指します。

ROTAX MAX CHALLENGE 運営イベントプロモーター